

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくら 小田急相模原教室			
○保護者評価実施期間	2025年10月1日 ~ 2025年10月25日			
○保護者評価有効回答数 (対象者数)	56 (児発37 放デイ19)	(回答者数)	50 (児発35 放デイ15)	
○従業者評価実施期間	2025年11月1日 ~ 2025年11月15日			
○従業者評価有効回答数 (対象者数)	12	(回答者数)	12	
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月1日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員全員で利用するお子様の記録や状況、現在のご様子を確認・把握することが仕組みとしてできています。	日々のミーティングでご利用のお子様全員の振り返り記録を行っています。また、今後、どのような療育を行っていくか職員間で話し合っています。	保護者様との連絡用アプリの機能を使って、より細かく簡単に保護者様との情報共有に取り組んでいきます。
2	他の教室と合同で活動を行ったり、他の教室での情報も共有しながら、より良い療育を目指しています。	共同で活動をする機会を設けている。他の教室のスタッフとも一緒に教室のあり方や療育方法について話し合っています。	他の教室との活動の頻度を増やしていきます。土曜、学休日などに公園などで集まって合同活動を考えています。
3	毎月の研修や外部研修を受けられる体制を整えています。研修で得た知識を業務に役立てるとともに、職員全体に伝達しスキルアップに励んでおります。	様々な研修を受けられるよう、こばんはうすさくら本部の研修情報や外部研修の案内を共有し、教室に必要な研修を受けています。偏りのないよう多くの職員に受けてもらえるよう工夫しています。	お子様の療育時間に受けれる研修は人員配置の理由で受けたくても受けられないことがあります。余裕のある人員配置を目指していますが現状難しいこともあります。人員の充実に努めていくことで研修を受ける機会が増えると考えています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様のお困りごと、お子様の感じているお困りごとの聞き取りが十分とは言えません。	送迎時では保護者様と充分な時間を取つてお話しが出来ません。面談時以外でもLINEなどでご連絡頂ければ、いつでもご相談できますが、保護者様が気軽に連絡できる環境を整える必要があります。	こちらからも積極的に困っていることなど聞き取る必要があると考えています。面談時以外での聞き取りをどうするか考えていかなければなりません。
2	利用希望があつても、満員のためお断りすることがあります。	利用者が多く、ほとんど全ての日で定員となってしまっています。	空きがある日をアナウンスして振り替えて利用してもらうよう、お知らせしていきます。
3	それぞれが、療育について勉強したり、工夫をしてお子様と向き合っていますが、体系的に学ぶ仕組みが整っていません。	管理者が一人ひとりの能力や意欲を把握しきれず、適切な研修素材の提供ができていない。	面談などを通して、本人のやる気や受講したい研修などを聞き取る必要があります。お子様だけでなく従業員一人一人にも目を配りより良い療育を提供できるよう考えています。